

4年生『篠山市学力状況調査』の結果について

4月17日に実施しました「篠山市学力状況調査」の結果を報告します。4年生全体としては、国語・理科は目標値を上回りおおむね良い結果でした。算数は、目標値、篠山市の平均値に近い結果でした。学力の定着状況をご理解いただき、学習習慣の改善や学校の教育活動に対して支援をお願いします。

問題内容（問題数）			4 年	
			目標値	本校
国語	○成果	作文（4問）	63	△73
	●課題	物語の内ようを読み取る（3問）	70	▼60
算数	○成果	たし算・ひき算（2問）	75	△84
	●課題	長さ・重さ（4問）	71	▼61
理科	○成果	身近なしぜんのかんさつ（3問）	81	△94
	●課題	物の重さ（3問）	51	▼46

※目標値は、学習内容に対して正答できることを期待した児童の割合（点数）です。

<4年国語>

○成果……作文
3年生の学力状況調査でもよかった「作文」が、今回も正答率が高く、問題にあった条件や字数制限に合わせて書けていました。作文の課題が身近なもの（学年間の交流を深めるための遊びを選び、それを選んだ理由を考える）であったため、取り組みやすかったようですが、無解答の児童が少ないという結果を見ると、授業で条件のある文章を作る活動を取り入れてきた結果だと考えられます。
●課題……物語の内ようを読み取る
「物語の内ようを読み取る（3問）」の正答率は、60.2%（目標値70%）でした。特に誤答が多かったのが4の問題「（2）心配する春（妹）とありますが、春が心配しているのはなぜですか。」と、物語に出てくる「登場人物の気持ちを読み取る」問題でした。文中の「① ぼくは、その場にしゃがみこんでいた。 」とあり、「2」が正解なのですが、そのあとの「② ふるえていた足に、 」という言葉を受けて「4」を選ぶ児童が多数いました。この結果から、複数の登場人物が何を見たり、考えたりしているのか、それぞれ正確に読み取っていきけるような手立てを、今後の授業の中で工夫していきます。

課題のある問題

4

次の文章を読んで、下の問題に答えましょう。

「三年生の『ぼく』は、学校からの帰り道、一年生の妹『春』がなっているのを見つけた。春の前には大きな犬がいて、うなり声をあげていた。

「こわくないぞ。」

ぼくは、犬に向かって言う。

「おまえがうなろうが、かみつこうが、ぼくはにげない。ぜったいに春を守るんだからな！」

すると、犬は急におとなしくなった。【3】

……助かったのかな？

犬のすがたが見えなくなったとき、^①ぼくは、その場にしゃがみこんでいた。^②ふるえていた足に、げんかいがきたみたいだ。

心ぞうのドキドキも止まらない。でもそれは、今までのドキドキとちがって、そんなにイヤじゃない。【4】

「だいじょうぶ、お兄ちゃん？」

心配する春。

ぼくは、大きくしんこきゅう。ドキドキが、だんだん小さくなっていく。

「心配ないよ。」

ぼくは、春にえがおを向けた。

（はやみねかおる「ドキドキ新学期」より）

(2)

心配する春とありますが、春が心配しているのはなぜですか。次から一つえらんで、その番号を書きましょう。

- 1 お兄ちゃんが大声でどなっているから。
- 2 お兄ちゃんがしゃがみこんでいるから。
- 3 お兄ちゃんがにげだそうとしているから。
- 4 お兄ちゃんがふるえながら立っているから。

(2)の正答率は、
岡野小が44.4%、
目標値が60.0%
でした。

< 4 年算数 >

○成果……たし算・ひき算

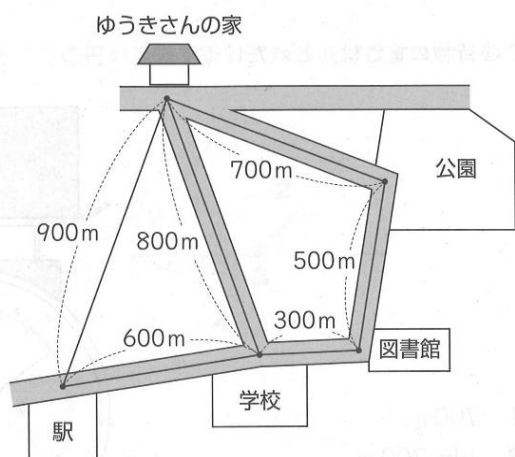
「たし算・ひき算（2問）」の正答率は84.7%（目標値75.0%）でした。3回繰り返し上がりのあるたし算、そして「1037-468」のような、大きい位からどんどん繰り下がっていくようなひき算でも正しく計算ができていました。きちんと筆算の仕方が定着していることがわかります。

●課題……長さ・重さ

「長さ・重さ（4問）」の正答率は61.8%で、目標値71.3%を大きく下回りました。下記の問題⑨の（2）では、文章を読んで、「行き」と「帰り」、それぞれの道のりの合計を計算し、その2つをくらべて答えを導き出します。正答は3「行きの道のりのほうが100m長い。」になり、これを選んだ児童は41.7%で、一番多かった誤答は2「帰りの道のりのほうが100m長い。」で、27.8%の児童が選んでいました。この問題を解くためには、問題文と図の両方を見ながら、内容を理解しなければなりません。授業で、文章と図を連携させていくような学習を、さらに取り入れていきたいと思います。

課題のある問題

- 9** 下の地図について、あとの問題に答えましょう。答えは**1～4**から1つえらんで、その番号を書きましょう。



家から図書館への道のり

〔行き〕

$$\text{家} \rightarrow \text{公園} + \text{公園} \rightarrow \text{図書館} \\ 700\text{m} + 500\text{m} = 1200\text{m}$$

〔帰り〕

$$\text{図書館} \rightarrow \text{学校} + \text{学校} \rightarrow \text{家} \\ 300\text{m} + 800\text{m} = 1100\text{m}$$

よって、

「**3** 行きの道のりのほうが100m長い。」
となります。

（2）の正答率は、

岡野小が41.7%、
目標値が60.0%でした。

- （2） ゆうきさんは、日曜日に図書館に行くことにしました。家から公園の前を歩いて図書館まで行き、帰りは学校の前を歩いて家まで帰ります。行きと帰りでは、どちらの道のりが、どれだけ長いですか。

- 1 行きの道のりのほうが10m長い。
- 2 帰りの道のりのほうが10m長い。
- 3 行きの道のりのほうが100m長い。
- 4 帰りの道のりのほうが100m長い。

<4 年理科>

○成果……身近なしぜんのかんさつ

「身近なしぜんのかんさつ（3問）」の正答率は94.4%、目標値の81.7%を大きく上回る結果となりました。野外観察に出るときの適切な服装や、危険な生き物（スズメバチ）に対する適切な対応など、生き物に対する知識だけでなく、自然観察するときの注意事項について正しく理解できています。実際に自然観察したときの経験や、授業で習ったことを確実に習得できていることがわかります。

●課題……物の重さ

「物の重さ（3問）」の正答率は、46.3%（目標値51.7%）でした。

特に誤答が多かったのが、以下の10の問題（3）でした。この問題では、同じ体積でも物質の種類（ここではアルミニウムと鉄）によって重さが違うことを理解しているか、が問われています。この問題を解いていくためには、問題文と四角で囲んである会話文の両方を読み、重さをはかるための趣旨を理解しなければなりません。

さらに「3つあるものの中から、1つの異質なものを見分けるために重さをはかる」といった、論理的思考が必要になります。今後はより一層、学習の目的（ねらい）を明確にするとともに、「なぜそうなるのか」を考えたり話し合ったりする活動を大切にしながら、授業を進めていこうと考えています。

課題のある問題

- 10 けんさんとまきさんは、同じ大きさで同じ形のアルミニウムや鉄でできたかんを先生につぶしてもらい、ふくろにつめています。次の文は、3人の会話です。あとの問題に答えましょう。

けん「つぶすと大きさが小さくなるから運びやすくなるね。」
まき「つぶす前はふくろに5こしか入らなかったけど、つぶしたら20こも入ったよ。」
先生「かんはつぶすと大きさが小さくなるけど、重さはどうなるかな。」



- (3) けんさんは、つぶした10このアルミニウムのかんを5こずつ2つのふくろにわけました。まきさんは、つぶした5この鉄のかんを1つのふくろに入れました。2人は、この3つのふくろを同じ場所においていたので、どのふくろが鉄のかんの入っているものかわからなくなっていました。これについて、2人はあのように話しています。



まき「見た目だけではわからないから、重さをはかってみればいいね。1つだけ重さがちがうふくろがあるはずだよ。」
けん「なるほど。アルミニウムと鉄は、(㊤)わかるんだね。」

(㊤)にあてはまる言葉は何ですか。次の1～4から1つえらんで、その番号を書きましょう。

- 1 物の大きさがちがっても、重さが同じだから
- 2 物の大きさがちがうと、重さがちがうから
- 3 物の大きさが同じだと、重さが同じだから
- 4 物の大きさが同じでも、重さがちがうから

右の 3つのふくろのうち、
2つはアルミニウムの缶、
1つは鉄の缶が 入っています。

「まきさん」の会話文

「見た目だけではわからない」、
つまり、物（缶）の大きさが同じです。
しかし、「重さをはかってみればいいね」
つまり、重さでちがいがわかる
→重さがちがう ことがいえます。

よって、

「4 物の大きさが同じでも、
重さがちがうから」
が正解となります。

(3) の正答率は、
岡野小が47.2%、
目標値が61.4%でした。